

芝丸山古墳

増上寺 東京タワー そして

港区芝公園内 所在

左手が丸山古墳(5世紀の前方後円墳)なる案内表示/正面に増上寺の屋根が見える



この正面は後円墳部分



後円墳部分



後円墳部分



後円墳部分



後円墳部分



くびれ部分



この辺りから左手が前方墳部分



前方墳部分



前方墳部分





東京都指定史跡

芝丸山古墳

所在地 港区芝公園四丁目 都立芝公園内
指定 昭和五四年三月三十一日

全長一〇六メートル前後、後円部径約六四メートル、前方部前端幅約四〇メートル、くびれ部幅約二メートルほどの、都内最大級の規模をもつ前方後円墳である。標高約一六メートルの台地端に位置し、前方部を南々西に向けている。

江戸時代以降、原形はかなり損じられており、とくに墳頂部や後円部西側は削られてしまっている。明治三十一年に、日本考古学の先駆者坪井正五郎博士によって調査されたが、すでに後円部中央に位置したと考えられる主体部（埋葬施設）は失われており、遺体や副葬品なども不明である。なお、埴輪を伴うことは知られている。

前方部が狭く低い形態や、占地状態などから五世紀代の築造とみられており、そのころ、附近の低地の水田地帯に生産基盤をもち、南北の交通路をおさえていた、南武蔵有数の族長の墓だったと考えられる。

平成二年一月二七日 再建

東京都教育委員会

文化財を大切にしましょう

Historic site

Shibamaruyama Kofun

くびれ部分に円山稲荷がある







円山隨身稲荷大明神

円山稲荷は、増上寺の裏鬼門に位置し、山内鎮守の重要な地を占め、史跡として知られている丸山古墳上にある。

隨身稲荷の古木は、増上寺がこの地に移住当時桑名よりお迎えした御木やを守護する為に行きまてお供されたいわれにより、以末永く鎮守します大明神であります。

大木山 増上寺



円山隨身稲荷大明神

円山稲荷は、増上寺の裏鬼門に位置し、山内鎮守の重要な地を占め、史跡として指定されている丸山古墳上にあります。

隨身稲荷の由来は、増上寺がこの地に移建当時桑名よりお迎えした御本尊を守護する為に江戸までお供されたいわれにより、以来永く鎮守まします大明神であります。

大本山 増上寺



圓山隨身稻荷大明神とある





奉

納奉
淨取
六月廿七

圓山隨身稻荷大明神とある







丸山古跡とある



戦没者の供養塔



参考ホームページ

http://inoues.net/ruins/sibamaruyama_kofun.html

<http://sgkohun.world.cocacn.jp/tokyo/23ku/sibamaru.html>

